

週間漁海況情報 2025年第43号

令和7年10月28日発行

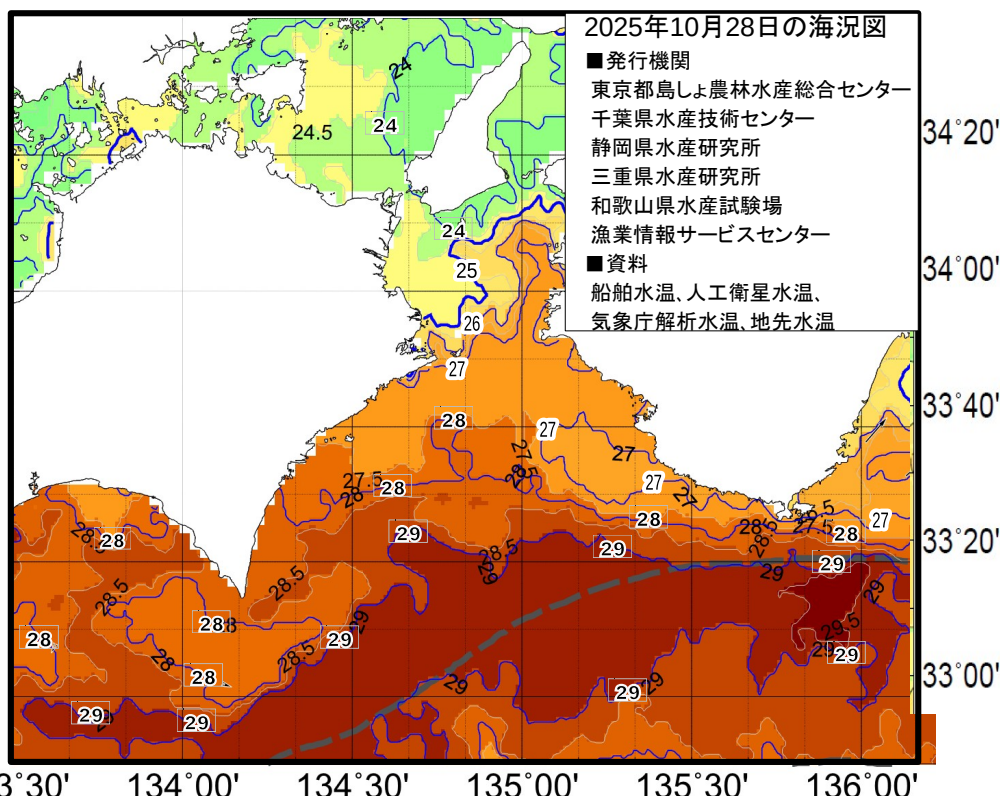
海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖40マイル付近、潮岬沖20マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は26～29℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で23～24、紀伊水道で24～26、海部沿岸で27～28℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

(いずれも正南方向)

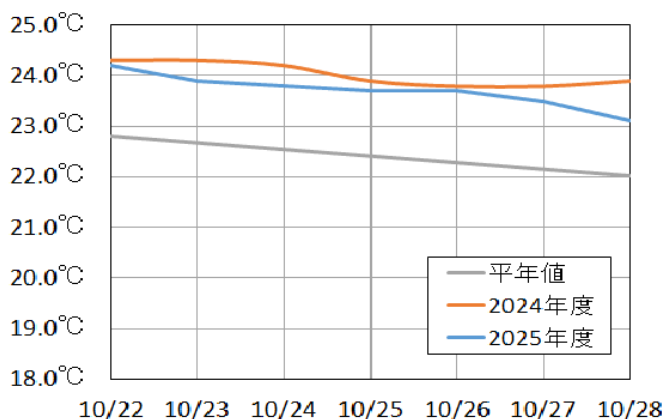
直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

2. 地先水温(10月22日～10月28日 浅川地区は水温計故障のため那佐地区の水温を用いた。)

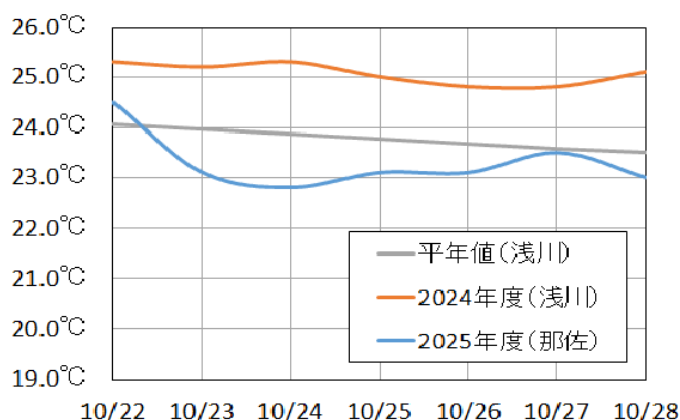
鳴門地区の水温は、24.2～23.1℃で「やや高め」で推移。那佐地区は、24.5～22.8℃。

鳴門と那佐地区の水温差は、-1.0～0.3℃だった。

鳴門地区



那佐地区(昨年値と平年値は浅川地区)



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(10月29日～11月4日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「やや高め」で推移する見込み。

漁況 (10月20日～10月26日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが62.6ト水揚げされた。

延縄では、サワラが増えて6.6ト、あまだい類が0.7ト水揚げされた。

底びき網では、えそ類が増えて2.5ト、クマエビが減って1.7ト、

ハモが減って中主体に1ト、かます類が大きく増えて0.5ト水揚げされた。

建網では、カワハギが減って大主体に0.7ト、カンパチが大きく増えて大主体に0.5ト、

マアジが大きく増えて豆あじ級主体に0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが豆あじ級主体に0.9ト、カンパチが減って0.3ト、

マルアジが大きく減って小主体に0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

小型定置網では、ウルメイワシが大きく増えて0.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	73	シラス	62,640	858		→
	延縄	69	サワラ	6,611	96		↗
		38	あまだい類	658	17		→
	底びき網	32	えそ類	2,488	78		↗
		32	クマエビ	1,707	53		↘
		32	ハモ	1,004	31	中主体	↘
		32	かます類	505	16		↗↗
	建網	104	カワハギ	654	6	大主体	↘
		7	カンパチ	505	72	大主体	↗↗
		6	マアジ	214	36	豆あじ級主体	↗↗
	小型定置網	12	マアジ	892	74	豆あじ級主体	→
		12	カンパチ	303	25		↘
		11	マルアジ	218	20	小主体	↘↘
海部沿岸	小型定置網	4	ウルメイワシ	298	75		↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘